

愛媛県産はだか麦の危機 高品質なはだか麦を取り戻そう ～穂肥編～

基本管理の徹底が
「1等」への第1歩



目指せ！
全量1等麦！！

<基本管理 穂肥>

適期穂肥で粒張りを確保

○実施時期

茎立期

(出穂前25～30日)

○施用量

NK化成で20kg/10a

(窒素成分 3 kg/10a)



茎立期とは
茎が伸び始め、主稈長
が2cmになった時期
(幼穂長5～10mm)

茎立期の麦 (ハルヒメボシ)

表 穂肥施用時期予測 (ハルヒメボシ)

播種時期	穂肥施用時期	出穂期
11月1日	2月20日	3月22日
11月10日	2月25日	3月27日
11月20日	3月3日	4月2日
12月1日	3月8日	4月7日
12月10日	3月10日	4月9日

(注) 農林水産研究所の平均値(地域の実情で時期は前後する)。

<基本管理 麦踏み>

今冬1月は低温少雨で
生育がやや遅れ気味



茎立期までは積極的に麦踏み
を行い根張りを促進！



管理機による麦踏み (農水研)